

【委員一同】

他に推薦なし。

【会長】

皆様方からご賛同いただいたので、遠藤様に副会長への就任についてお願いしたい。

(2)第3次和泉市環境基本計画の進捗管理について

○説明概要

令和2年度末に策定した「第3次和泉市環境基本計画」の進捗状況調査として「令和5年度結果」及び「令和5年度に把握できた最新の結果」について具体的な数値目標を記載した資料に基づき報告した。

1. 代表指標

・「環境に関する学習会等」について

実施件数は令和4年度では426回、令和5年度では946回となっており、令和5年度は前年度と比較して約2倍に増加した。特に、野菜の収穫体験、緑化・清掃活動、自然観察会に関するイベント実施数が増加していた。背景に新型コロナウイルス感染拡大により中止となっていた事業が、再開し始めたことがあると考えられる。

・「市民1人あたりCO₂排出量割合」について

令和2年度の排出量と比較して、令和3年度の排出量は減少した。また、部門別にみると、家庭部門で大きく減少し、その他部門では微減となった。

・「人口に対する公共交通の利用率」について

鉄道、バス、地域バスの3つ全ての利用率が、前年度より増加となった。担当部局によると、バスの利用率が増加した要因については、コロナ渦が明け始めたことで、交通機関の利用者がコロナ前に戻り始めたことが要因ではないかとの回答であった。

・「貴重動植物の数（信太山丘陵公園予定地内で調査）」について

令和元年度から令和4年度までは、貴重動植物は6種全て確認できていたが、令和5年度はヤマトサンショウウオが確認されず、確認できた貴重動植物は合計5種であった。貴重種の調査については、引き続き行っていく。

2. モニター指標

・「学校教育における環境教育にかけた時間」について

令和5年度と同様に、社会科や総合学習でのごみ処理やSDGsに関する授業が実施されている他、自然環境に関する授業や、農作物の収穫体

験等の授業なども実施されている。中でも、「生分解性プラスチック」に関する学習は令和5年度で初めて確認された。

・「森林経営計画に基づく「いずもく」の年間排出材積」について

令和5年度は、令和4年度と比較して619 m³から43.01 m³へと、大きく減少した。担当部局によると、対象の森林整備は2か年計画で進めており、令和5年度は主に間伐材の搬出に関する森林作業道整備等の環境整備を行ったもので、「いずもく」の搬出作業は令和6年度上期に集中して行ったことから、実績値としては減少したものであるとの回答であった。

・「地域清掃の回数」について

令和5年度は令和4年度と比較して、清掃活動の回数は、ほぼ横ばいとなった。

3. その他の取組みについて

脱炭素の取組みとして「省エネ家電買替促進事業補助金」や、近年被害が拡大している「クビアカツヤカミキリ」に対する取組みについて説明した。

4. 評価

代表指標15項目のうち、右上がりの評価（↗：目標に近づいている）が8項目で全体の約54%、現状維持が5項目で約33%、右下がりの評価（↘：目標から離れている）が2項目で約13%となった。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症による生活への影響が薄れ、生活スタイルが感染症蔓延前に戻り始めた年であり、「環境に関する学習会等の参加件数」や「人口に対する公共交通の利用率」などが増加した。

モニター指標については、「前年度より概ね向上した項目」および「前年度より概ね低下した項目」が、ともに全体の約21%であり、「概ね現状を維持している項目」は全体の約半数となった。引き続き動向を注視していく。

○質疑等

【委員】

「省エネ家電買替促進事業補助金」の実績について、事業の予算執行率と、来年度も継続して事業を実施するのか、事業の詳細について教えていただきたいのが1点で、もう1点は、12ページ「5. まとめ」のモニター指標について、「前年度より概ね向上した項目」等の割合の書き方は、代表指標のように何項目のうち何パーセントか、という表記ではなかったか。これまでもこのような表記であったか。

【事務局】

省エネ家電補助金の予算執行率は86.7%執行で、13%ほど予算が残った。また、来年度は今のところ実施する予定はない。

モニター指標のまとめについては、昨年度と同じ表記で、パーセンテージだけ記載している。

【会長】

代表指標と同様に、何項目中何パーセントと書いた方が良くもしいない。

【事務局】

ご意見ありがとうございます。来年度そのように記載する。

【会長】

7ページ目の「部門別温室効果ガスの排出量の削減率」について、家庭部門が大きく減っているが、省エネ家電の事業効果が連動しているのか。

【事務局】

連動するのが一番理想であるが、こちらの排出量の削減率は、令和2年度から令和3年度の実績であり、本課が事業を実施したのは令和5年度から令和6年度であるため、直接は連動してはいない。

【委員】

9ページ目の「学校教育における環境教育に要した時間」について、モニター校は6校となっているが、モニター校の抽出方法について教えてほしい。

【事務局】

モニターの抽出について、和泉市の北部から南部まで、小学校・中学校・小中一貫校と様々な種類の学校が混ざっていたほうがモニターとして適切だというご意見をいただき、当初は5校（国府小学校、南池田小学校、南松尾はつが野学園、石尾中学校、信太中学校）を選定していた。その後、委員から「環境教育に積極的に取り組んでいる鶴山台北小学校もモニター校として追加してほしい」との要望があり、現在計6校を対象にモニタリングしているものである。

【会長】

代表指標②『「町会・自治会や近隣住民と十分にコミュニケーションが取れている」と思う市民の割合』について、50%という目標には程遠いと思うので、次の目標を改定するときは再考が必要かもしれない。代表指標①「環境に関する学習会等の参加件数」についても、現時点で実績が目標値を大きく超えているので、次の計画を策定する時にどうするのか課題である。

【会長】

令和6年度のヤマトサンショウウオの「卵のう調査」は既に実施されたか。

【事務局】

まだ調査は実施していない。例年2月末頃にヤマトサンショウウオが産卵するため、その時期に一度調査を実施できたらと考えている。

【会長】

1年度だけでは、いなくなったかの判断ができないと思うので、2,3年は継続して結果を確認した方がいいと思う。また、モニター指標⑦「森林経営計画に基づく”いずもく”の年間搬出材積」について、市内にある森林の樹齢がどうなっているのかを考えないと、古木ではCO₂の固定量が落ちてくるので、若木がないとなかなか固定量を確保できないと思う。市の森林戦略として何かコメントはあるか。

【事務局】

市の森林計画は、山主と林業事業者との間で契約される森林経営計画に基づき実施される森林整備を補助するもので、森林の育成・管理・伐採に要する費用と、搬出した木材の販売利益の差額が山主に一定還元されることで森林の整備が実施される。

なお、市場で流通する木は、大体40年級以降になってくるが、この森林経営計画では、山主のメリットが見出せるかが重要で、CO₂の排出量というところは加味されていない。そちらのケースを見ていくとなってくると、伐採方法など、様々な調整が必要になってくる。

【会長】

林業を活性化すると同時に、新しい苗木を植えていくというのが非常に大きな効果があるのだが、経済面の問題もあるので、その点について考えていかないといけない。

【委員】

他の委員からも指標について意見があったが、目標値の設定の仕方について見直しを行った方がいいと思う。

【会長】

クビアカツヤカミキリの問題について、注意しないとサクラの名所がなくなる恐れがあると言われていたが、何か考えはあるか。

【事務局】

クビアカツヤカミキリについて、本市では環境、公園、農林の3部局が関係しています。

- ・環境部局では、市民、事業者等に対して、ネット等の配布
 - ・公園部局では、サクラが植わっている公園・緑地等への対策
 - ・農林部局では、モモやウメ等の果樹被害に対して、果樹振興会では、会員に対して、ネットの購入費用の一部助成を実施
- これらをそれぞれ実施している。

【会長】

果樹の場合だと、薬剤散布をせざるを得ないのかな…という感じはしている。ネットだけではなかなか防除が難しいのが実態ではないか。

【会長】

皆様、ご意見ありがとうございました。
次の案件に入りたいと思います。

(3)その他（信太山丘陵里山自然公園協議会について）

○説明概要

令和6年度の活動概要のほか、令和6年8月に第1期区域が開園したことに関する情報について説明した。

○質疑

【会長】

開園式典には結構人が来ていたかと思うが、参加者についての詳細は分かるか。

【事務局】

詳細までは把握していないが、市議会議員の方が8名、協議会関係者4名、NPO 団体、地元自治会、一般会員の方等にご参加いただいたと（担当課から）聞いている。

【会長】

(ボランティアの)皆様のご協力で里山管理をしているというところであり、また機会があればご参加いただければと思う。よろしくお願いいたします。他にご意見等ございますか。

【委員】

意見なし。

【会長】

その他、事務局から何かご報告ありますか。

【事務局】

特になし。

【会長】

これもちまして、和泉市環境審議会を終了させていただきます。

以上